



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第151号平成27年 1月1日発行
盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6730 FAX 019-629-6739



新年のご挨拶

平成27年の年頭に当たり、皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、当普及センターの農業改良普及事業の推進に対しまして、常日頃より多大なご支援とご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、4月は比較的高温・乾燥で推移したことから山林火災が相次いで発生し、農業用水の確保が困難な地域もありました。5～6月の平均気温は観測史上最高となり、梅雨入りは6月6日頃、明けは7月25日頃で平年より早めに経過しました。8月は一転して長雨・曇天傾向となり、9月は一部で台風の影響も見られました。しかしながら、水稻の作況は105の「やや良」となるなど、総じて作物の出来は良かったと思っております。

これもひとえに、状況に応じて対応されました農業者の皆様をはじめ、関係者の方々の努力の賜物と感謝を申し上げます。

さて、昨今の農業を取り巻く情勢は、オーストラリアとのEPAやアメリカ等とのTPP交渉の継続、また、農地中間管理事業、新たな経営所得安定対策、水田フル活用と米政策の見直し、日本型直接支払の創設など、大きな転換期を迎えており、先行きが不透明な状況にあります。

しかし、このような中であっても、農産物の低コスト生産への取組、高付加価値化による所得向上、多様な販売チャネルの開拓など、創意と工夫を凝らして農業に励む方々もおられます。一方で、郷土芸能など農村文化の継承、食の匠による郷土食の伝承、地域コミュニティーの形成、集落営農の推進など、農村地域の活性化に尽力され、数々の褒章を受けられるなど、皆様の前向きな取組に改めて心強く感じているところであります。

当農業改良普及センターは、農業・農村をめぐる急速な状況変化や多様な地域農業の課題に迅速に対応しながら、地域特性を生かした活気ある産地と農村地域づくりに取り組む皆様を支援する役割を担っております。

このため、「経営体質の強い担い手の確保」と「競争力に優れる産地形成」の2つを主な目標として掲げ、認定農業者や集落営農組織の経営高度化支援、新規就農者の確保・育成や女性組織への活動支援とともに、6次産業化の支援や産地直売所の活性化支援、また、農作物や畜産等では、生育状況、異常気象対策、病虫害発生予察、環境に配慮した技術、研究機関で開発された新たな技術、先進事例など、各種農業情報の提供等について、農業協同組合や市町、農業委員会等と連携を密にしながら、職員一同が一丸となって活動を展開して参りますので、皆様のより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様の益々のご健勝、ご繁栄をご祈念申し上げ、年頭に当たっての挨拶とさせていただきます。

盛岡農業改良普及センター所長 古川 勉

もいおか広域花の女子会2014

❖ 「もいおか広域花の女子会 2014」ってなに？

盛岡広域振興局農政部と盛岡農業改良普及センター、八幡平農業改良普及センターが連携し、盛岡広域の女性花き生産者と、花屋の交流を目的として開催している会です！

全4回の開催となっており、今年度は既に6月、10月、12月の3回が終了し、4回目は平成27年2月の開催を予定しています。

❖ どんなことをしているの??

第1回は栃木県生花商協同組合長の平井氏に「栃木県で実施している花のPR活動」として、花メッセや高校生活教養科とのウエディングファッションショーなどについて講演していただき、その後、花卉商組合さんの指導の下、県産のユリ、ヒマワリ、カーネーション、アルケミラモリスを使って、ミニブーケを作成し、中の橋周辺を歩いて花のPRを行いました。



第1回 ミニブーケ

第2回 ビクトリーブーケ



第2回では、花巻市のエンドウ花店代表取締役兼に「冬季オリンピック長野大会における地元花きを使ったビクトリーブーケ開発」について講演していただきました。ワークショップでは、盛岡広域管内のりんどうを活用したビクトリーブーケを、グルージャ盛岡の選手と一緒に作りました。その後の模擬表彰式では、生産者から選手へのビクトリーブーケの贈呈を行いました！

第3回はクリスマスをテーマに、盛岡広域管内のアルストロメリア、カーネーション、ストックを使った、生花のクリスマスリース作りに挑戦しました！



第3回 クリスマスリース

参加した皆様からは、「とてもいい勉強になった。是非これからもこういう取組をして欲しい。」といった意見や、「これからは花卉業界で生産と流通が一体となって花きの生産やPRに取り組むことが重要だと思う。」といった意見、「生産者と交流することで、改めて花を大事に使っていきたいと感じた。」といった意見が聞かれました。

❖ これからどんなことをするの？

第4回は2月にフラワーバレンタインをテーマに開催する予定です。たくさんの方々のご参加をお待ちしています！

盛岡農業改良普及センターでは、今後も振興局農政部と八幡平農業改良普及センターと連携しながら、生産者と地元花屋との交流を深め、花の生産と消費拡大に繋げる取り組みを行っていきます。



皆で協力して
岩手の花を
盛り上げよう！

